

目 次

はじめに	1
著作権法の意義 1	
図書館資料の利用の変化 2	
1. 著作権制度	5
1.1 日本における著作権法の沿革	5
(A) 旧著作権法制定まで 5	
(B) 旧著作権法制定以後 6	
(C) 新著作権法（現行）の制定 7	
(D) 新著作権法の特徴 8	
1.2 新法制定後の改正点について	9
(A) レコードの保護強化に関する改正 昭和53年（1978）・ 平成4年（1992）改正 10	
(B) 貸与権の創設 昭和59年（1984）改正 10	
(C) 放送権・有線送信権の定義の改正について 昭和62年 （1987）改正 11	
(D) 私的録音・録画に報酬請求権制度を導入 平成4年 （1992）改正 11	
1.3 今後の動き	12

- (A) 電子出版・マルチメディアと著作権の権利関係 12
- (B) 映画の2次的利用の増大に伴う実演家又は映画監督等の権利関係 13
- (C) 音楽の著作権の再生演奏に関する権利関係 13
- (D) 写真の著作物の保護期間の延長について 14

- 1.4 版面権について14
- 1.5 ウルグアイ・ラウンドについて15
- 1.6 国際著作権法条約について.....16
 - (A) ベルヌ条約について 16
 - (B) 万国著作権条約について 17

2. 著作物と著作権19

- 2.1 著作物の保護19
 - (A) 著作物とは 19
 - (B) 保護される著作物 21
 - (C) 保護されない著作物 22
 - (D) 保護期間 23
- 2.2 著作者の権利24
 - (A) 著作者とは 24
 - (B) 著作者人格権 24
 - (C) 著作権 26
 - (D) 著作隣接権 28
 - (E) 著作権の発生、方式主義と無方式主義 29
- 2.3 著作権の制限30

(A) 著作物の利用 30

(B) 著作権の制限 31

3. 貸出・閲覧35

3.1 著作権法上の「貸出」35

3.2 貸出を認める条項36

3.3 図書・雑誌等の印刷物の貸出38

3.4 CD・録音テープ等音楽の著作物の貸出40

3.5 ビデオテープ・LD等映画の著作物の貸出42

(A) 貸出が認められる図書館 42

(B) 補償金の支払い 44

3.6 閲覧・展示・館内視聴45

(A) 閲覧と展示 45

(B) 館内視聴 47

4. 図書館における複写・複製51

4.1 図書館における複写・複製51

(A) 電子式複写機の発達と図書館への普及 51

(B) 著作権法改正当時の動きと図書館 53

①昭和37年(1962)～昭和44年(1969) ②昭和45年(1970)

(C) 図書館等における複製 54

①法31条における「図書館等」 ②図書館等が複製できる要件としては

③第1号について ④第2号について ⑤第3号について

4.2 公共図書館61

(A)	公共図書館における複写と著作権	61
(B)	複写方式	62
	①職員が行う方式 ②コイン方式 ③業者委託方式	
(C)	相互協力複写	66
4.3	学校図書館	68
	①著作権法における学校図書館 ②学校における複製	
4.4	大学図書館	71
(A)	文献複写サービスの必要性	71
(B)	文献複写サービスの現状	73
(C)	学術情報の新たな展開と複写・複製	75
(D)	複写・複製サービスと著作権	82
(E)	複製サービス業務の運営	89
4.5	専門図書館	92
	①専門図書館の範囲 ②著作権法上の「図書館」と専門図書館 ③法31条が適用されない専門図書館における複写 ④議会図書館 等における複写	
5.	障害者サービス	99
5.1	障害者サービスの範囲	99
(A)	図書館資料にアクセスできない利用者のケース	99
(B)	図書館員とのコミュニケーションが不自由な利用者の ケース	100
(C)	来館できない利用者のケース	101
5.2	著作権に関わる障害者サービス	101

5.3	基本的な考え方	102
5.4	音訳サービスの許諾事務	103
5.5	弱視者へのサービスにおける許諾事務	106
5.6	聴覚障害者サービスにおける許諾事務	107
5.7	その他のサービスにおける許諾事務	108
5.8	対面朗読サービスと著作権	108
5.9	著作権処理済み資料の館間貸出	108
5.10	著作権者からの許諾の明示による複製	109
5.11	障害者サービスと著作権	110
6.	映画、音楽資料とデータベース	113
6.1	映画と著作権	113
	(A) 映画	113
	(B) 映画の著作物	115
	(C) 映画の著作者	116
	(D) 映画の著作権	117
	(E) 映画の上映権と頒布権	119
	(F) 映画と著作隣接権	122
	(G) 問題点	122
6.2	音楽と著作権	124
	(A) 音楽	124
	(B) 音楽の著作物	125
	(C) 音の著作物	126
	(D) 音楽の著作者	127

(E) 音楽の著作権	128
(F) 音楽と著作隣接権	128
(G) 問題点	129
6.3 データベースと著作権	130
①著作権法とデータベース	
②データベース作成者の著作権	
③データベースを構成する各情報の著作権	
④図書館とデータベース	
7. 日本複写権センター	139
7.1 設立の経緯	139
7.2 事業活動と複写利用契約	141
7.3 法31条による複写の範囲	148
8. 著作権事例集 (Q & A)	157
著作権問題関係文献一覧	183
索引	189

